

# 2020年度(令和2年度)釧路市地域連携型サテライトオフィスモデル事業結果概要

【事業期間(募集期間)】2020年(令和2年)9月3日~2021年(令和3年)1月末

【補助金交付実績】8社・団体13名

(モデル事業申請者の他、関連企業等9社・団体11名が来釧)

## 企業等とのビジネスマッチングの可能性検討

- 地元企業と連携した、地域の資源を活用した研究・商品開発事業の展開検討
- 地元企業等が参加する勉強会開催
- 会社のワーケーション制度導入検討のための体験・視察
- 学生やDMO、市役所とのハイブリッド型ワークショップによる釧路市での取組検討 等

## 釧路市の地域の特性がもたらす効果の検証

**気候** 過ごしやすい気候(冷涼、スギ・ヒノキ花粉ゼロ等)

**ちょうどいいまち** ちょうどいいまちの規模(都会でもなく田舎でもない)

**生活** 生活利便施設の充実  
(買い物、医療・福祉、子育て等)

**交通** 首都圏とのアクセス、地域内の移動の利便性

**自然** 身近にある豊かな自然環境・景観

**観光** 豊富な観光資源



- 移動時間短縮、移動負担軽減
- 従業員の就業環境改善
- 休暇の取得促進、ワーケーション
- 業務の生産性(効率性)向上
- 付加価値創造業務の向上  
(イノベーション促進)
- 組織力の強化・チームビルディング
- オフィスコストの削減、  
省エネ・節電対策 等

# モデル事業①

## 地元企業と連携した、地域の資源を活用した研究・商品開発事業の展開検討

実施団体	エステー(株)、(有)ラウンドテーブルコム、(株)野村総合研究所、日本アゼルバイジャン商工会議所 他 (11社・団体13名(モデル事業申請者以外含む))
実施期間	2020年9月18日～9月21日(4日間)

### 事業の概要・成果

釧路白糠工業団地にあるクリアフォレスト※のプラントを視察し、様々な事業者と意見交換やワークショップを実施し、SDGsの視点と参加者各々の立場から考えられるエステー(株)事業との連携や事業展開について検討した。

また、釧路市役所を訪問して市長や担当者と意見交換を行い、地域の課題を共有することで、釧路の地域産業の発展につながる可能性も見出すことができた。

### 地域特性と実施の効果

- ◎休暇の取得促進・ワーケーション・・・・・・・・・・ 自然 観光
- ◎業務の生産性(効率性)向上・・・・・・・・・・ 気候 ちよとしいまち
- ◎付加価値創造業務の向上(イノベーション促進)・ 気候 自然 観光
- 従業員の就業環境改善・・・・・・・・・・ 気候 自然 観光
- 組織力の強化・チームビルディング・・・・・・・・ ちよとしいまち 自然
- オフィスコストの削減・省エネ・節電対策・・・ 気候 ちよとしいまち 生活

1日目：移動、クリアフォレストプラント(地元企業：(株)北都)視察  
釧路市長面談・担当者意見交換



2～3日目：  
山林視察、  
ワークショップ開催



コワーキングスペース  
「HATOBA nishikimachi」  
「くしろフィス」

4日目：  
阿寒摩周国立公園  
ワーケーション、  
移動



※クリアフォレスト  
エステーグループの日本かおり研究所(株)が開発した、釧路産トドマツ(間伐材)から抽出した空気浄化作用に優れた機能性樹木抽出成分。エステー(株)では、これを原料とした研究・開発事業を展開。



# モデル事業②

## 地元企業等が参加する勉強会開催/ワーケーション制度導入検討のための体験・視察

実施団体	(株)ジョイゾー、(株)コラボスタイル 他 (5社・団体9名(モデル事業申請者以外含む))
実施期間	2020年10月25日～11月2日(9日間)










### 事業の概要・成果

業務システム構築サービス「kintone」に関する釧路市の勉強会(道東企業参加)や、働き方改革を通じた地元の活性化について考えるトークイベントに登壇した他、地元企業の訪問や釧路市役所との意見交換を行う等、地域との交流を深めることができた。

リモートによる社内会議や打ち合わせといった通常業務も実施した。

滞在後半には道東エリアを観光し、ワーケーション制度の取組みについて検討を行った。釧路市はテレワークの環境もあり、ストレスなく業務が実施できることがわかり、また大自然の中で社員と随時行動し、同じ体験をすることによるチームビルディングも効果的だと感じた。

### 地域特性と実施の効果

- ◎移動時間短縮、移動負担軽減・・・・・・・・・・ 
- ◎従業員の就業環境改善・・・・・・・・・・ 
- ◎休暇の取得促進・ワーケーション・・・・・・・・   
- ◎業務の生産性(効率性)向上・・・・・・・・・・  
- ◎組織力の強化・チームビルディング・・・・・・・・  

- 1～2日目：移動、地元打合せ、リモート会議・打合せ等
- 3～4日目：市外滞在
- 5日目：勉強会(kintone café 帯広・釧路)開催、リモート打合せ



コワーキングスペース「くしろフィス」



- 6日目：  
イベント登壇  
(Nomaps釧路根室)  
釧路市意見交換



- 7～8日目：  
道東観光・ワーケーション



- 9日目：  
地元企業打合せ、  
移動

# モデル事業③

## 学生やDMO、市役所とのハイブリッド型ワークショップによる釧路市での取組検討

実施団体	NECソリューションイノベータ(株) (5名(現地2名、オンライン3名))
実施期間	2021年1月20日～1月24日(5日間)






### 事業の概要・成果

観光DXの観点から釧路地域の課題について、コロナ禍で多くの人を集めることが困難な中、NECソリューションイノベータ(株)が提供するフレームワークを活用し、「新たな釧路の観光を考える」をテーマとしたハイブリッド型ワークショップ(オンライン/オフライン混合)を実施。釧路公立大学、釧路工業高等専門学校、DMO、釧路市役所、湯沢市役所(同社包括連携協定締結自治体)等が参加した。

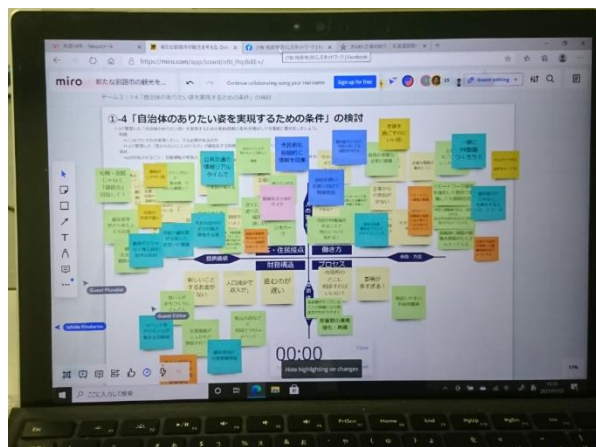
リモート開催にあたっては、ネットワークや音響等、実施環境にも留意が必要ということを確認できた。

また、自治体との連携によるDX推進を行うには、様々な立場の方々からの色々な意見が必要であり、今後もハイブリッド型ワークショップの必要性を検証することができた。

### 地域特性と実施の効果

- 移動時間短縮、移動負担軽減・・・・・・・・・・  
- 付加価値創造業務の向上(イノベーション促進)・・  
- ・組織力の強化・チームビルディング・・・・・・・・・・ 
- ※その他：他の地域からの学生が多い

- 1日目：移動
- 2日目：ハイブリッド型ワークショップ準備、通信環境確認  
市内フィールドワーク、リモート会議



- 3～4日目：  
ハイブリッド型  
ワークショップ開催  
(釧路工業高等専門学校、  
釧路公立大学)



会場  
「釧路市観光国際交流センター」  
5日目：移動